

別紙

第15回 南風原町議会報告会、意見交換会における会議録

1. 議会報告会での意見・要望等

（意見1）

政務調査費について説明をお願いしたい。政務活動費について、0円の方、数字が入っている方がいる。調査研究費はどのようなものに使われているか。

議長：調査研究費は県外視察だったり、他自治体への研修、資料の購入などに使われている。用途は本人に任せている。使っていても金額がオーバーするということで計上していなかったり、自己負担している方もいる。以前には必要としない方もいた。

（意見2）

津嘉山公園の遊具選定はこれから行うとのことだが、住民の立場で提案とか意見をする場合はどのようにお伝えすればいいか。具体的には遊具が熱くてやけどしてしまうことがあるため、太陽が出ていない時や夕方しか遊べない状況がある。木陰が無いと厳しい。整備するときに木陰を作るなどを考慮してほしい。どういう風に議員や行政に共有すればいいか。

経済教育委員長：まさに議会報告会の意義があるご意見である。

議長：これから選定、どのように選定されるかは確認していない。頂いたご意見は執行部へ伝える。

（意見3）

妊婦歯科健診はすごくいい取り組みだと思う。必要性が見いだされた経緯は。実施にあたってどのように周知されていくのか。

議長：母親の歯の健康を守ること、胎児にも影響があるだろうということが今回の妊婦歯科検診スタートした背景である。まずは新たなサービスが始まるということで議会のほうで承認された。

2. 意見交換会（総務民生常任委員）での意見・要望等

（意見4）こども家庭センターの年齢の対象は。青少年は対象か。ひきこもりや不登校の延長、学校を中退した方などの受け皿にもなり得るか。また、その人達への施策や受け皿はあるか。

総務民生委員：まだ、詳しい運用は把握していない。概ねこども課では、若者施策として30代くらいまでをサポートしている。こども家庭センターと若者の担当のこども課で対応を行う。

(意見5) ウガンヌメー公園に若者が集まる。問題のある子も多い。居場所がなく、家庭にも課題がある。自治会や警察も把握に努めているが後を絶たない。町内だけでなく町外から来る子たちもいる。そんな子たちの受け皿が南風原町では薄いと感じる。

総務民生委員：若者支援の場として、ここ ROOM がある。人数に限りがあるが、手助けは行っている。役場の中で教育委員会や福祉部局で情報共有しながら支援を行っている。

(意見6) こども家庭センターとは何か。専門的な配置はあるか。

総務民生委員：母子保健と子育てが統合される。これまで別だった課がひとつになり、社会福祉士なども配置される。

(意見7) ちむぐくる館の職員みんなが異動になるのか。

総務民生委員：母子保健部門だけが異動してくる。

(意見8) 一括になると便利なのはわかるが、土日や時間外への対応、どこに繋ぐかが大事。支援の先がなければ相談ベースで終わってしまう。そうならないように、どうやって民間企業とか地域と連携しながらこども家庭センターを作っていくのか。まずは、こども家庭センターって何か。相談に行くというのはとてもハードルが高い、どう相談できるか、どう解決できるかというメリットをなどを、どう周知するかが大事になるが、どう行うか。

総務民生委員：こども家庭センター、今までは母子保健等でばらばらだったのが、切れ目ない支援ができるということが目的。そこからどう支援につなげるかというのは、今からの課題となる。こういった時間外はどうするかなどの課題は行政へ伝える。新たな取組として期待したい。周知はこれからになる。

(意見9) 要対協などで議論するが、南風原町では事業で借りられる一軒家などの物件がない。実務者会議などでも、様々な話が出る。

(意見10) 津嘉山で小児と母子の訪問看護ステーションを行っているものです。お母さんは様々なことで悩まれている。これまでもこども課や保健師と連携をしている。役所が閉まった後に、こちらに相談が来る。その都度連携を取って、24 時間 365 日見守れるという機関なので、産前産後に特化したスタッフがサポートしている。県内でも数多くないが、南風原町にあるということを周知させていただきたい。こども家庭センターが設立されることは素晴らしいこと。民間と一緒にしてお母さん達を助けることは、制度の隙間に埋もれている人たちのサポートが出来ると思う。

総務民生委員：民間とどう連携するのか、地域との連携も課題に挙がった。まずは統合により相談の機能をしっかり作っていくとのことだった。時間外への対応はしっかり受け止めながら行政に伝える。

(意見 11) 相談員を色々やってきた。0 ～ 18 歳は色々な問題があるが、そのどの部分が対象か。例えば那覇市などでは母子寮がある。南部で母子寮を作って、民営委託とかも考えられるのか。また学校に行けない子たちや、色々な特性の問題がある。不登校にも対応するか。

総務民生委員：不登校について小学校中学校 120 名前後、不登校の定義は 30 日以上が基準で、実際にはたくさんいる。那覇市とか不登校に対して居場所が確保されているところはあるが、南風原町では居場所がないということで、話を受けて相談のあるお母さんグループがお互いに話をする、居場所をつくった例もある。居場所は必要なので議会の方でも声を上げている。ウガンモーなどでも行く場所がなくて騒いだり、問題行動を起こしたりすることもあるので、町に訴えていきたい。今受け入れるところはないという現状です。委員会の中では母子寮などの議論は出ていない。

総務民生委員：0 歳から 18 歳まで、どこがメインということではなく産前から子育てまでが統合されワンストップの窓口ができるということである。不登校についてはスクールソーシャルワーカーや訪問のためのリース車両などを強化している。相談は随時受けている。

(意見 12) 他市町村でもたくさん事例がある。母子寮は重要である。

総務民生委員：沖縄県や県議会とも連携できるように委員の方で議論を進めていきたい。

(意見 13) こども家庭センターってどんな組織か、まずわからないと P T A でも周知できない。わかりやすい周知をしてほしい。

(意見 14) 地域包括センターのこども版と考えていいか。

(意見 15) 難しい表現は響かない。

総務民生委員：南風原町の機構改革である。まだ体制の変更のみで、細かい周知はこれからになる。わかりやすい周知を求める。

総務民生委員：包括と同じイメージである。子育てのワンストップになる。

3. 意見交換会（経済教育常任委員）での意見・要望等

(意見 16) mobi は知っていたが、使い方が分からなかったので、具体的な生活シーンの例を出して、こういう使い方ができる等周知したら利用者が広がるのでは。

経済教育委員長：私も感じている。令和 8 年度で実証運行事業の最終年度、今年度の 10 月頃に事業の継続についての判断がなされる予定。令和 7 年度実績で収益率が 19 %にとどま

っている。これを 50 %まで高めないと事業継続が難しいのではないかという状況にある。町民の皆さまのご意見を伺いながら、事業継続するのか、事業終了するのか、今年度中に判断していきたい。議員の方からも一般質問等で事業継続については様々な意見がある。

(意見 17) 町民の認知率はどれぐらいで、どこからの補助金を活用しているのか。

経済教育委員長：補助金は今年度まで、次年度以降は新たな補助メニューを模索する。

(意見 18) 朝の通学等に使えるように検討できないか。

経済教育委員長：検証の報告書の中で、利用率、収入など総合的に判断している。タクシーやバスなど他の機関との調整も必要で、その結果今は現在の時間帯になっている。mobi の事業所の時間帯が決まっていることもある。

(意見 19) 高齢者や交通弱者が目的だったと思うが、実証実験を行う中でそれ以外にもニーズがあったか。

経済教育委員長：児童生徒の送迎、20 代 30 代、60 代の方などいろいろなパターンが見えてきた。保育所の送迎で使われている方もいる。

(意見 20) アプリのハードルの高さがないか。

経済教育委員長：電話でも受け付けできると案内している。

(意見 21) mobi は何台か。首里駅とのリンクはできないか。

経済教育委員長：3 台、時間帯によっては変動あり。執行部の方も首里駅とのリンクについては要望しているが、補助金や規則の部分で難しいとのこと。実証実験では無くなった場合は可能性はあるとのこと。モノレールまで行けた方がいいという想いは一緒である。

(意見 22) 福祉や住民サービスの観点からも mobi は必要なので継続してほしい。継続できなかった場合でも、引き続き議論を重ね、議員から様々な提案をしてほしい。

経済教育委員長：提案として受け取ります。

(意見 23) 運転免許証を返納した高齢者は移動手段の不安もあるので、高齢者へのメリットは大きい。買い物などへの要望もある。買ってきてもらうよりも、自分で見て買い物をしたいという声もある。mobi が続けば高齢者の生活も豊かになるのかなと考える。

経済教育委員長：mobi 導入することで高齢者が外出しやすくなるなど、声を頂いている。

（意見 24） 南風原町の公式 LINE アカウントの登録者をもっと増やすように促進してはどうか。

経済教育委員長：各議員からも一般質問等で利用促進を行うよう声があがっている。今年度力を入れるということで、公用車にラッピング等をしている。今後も執行部と調整していきたい。

（意見 25） 津嘉山公園の遊具に関して、オブスタクルスポーツという新しいアーバンスポーツ競技の場を整備してはどうか。

経済教育委員長：要望として伺います。区画整理による土地ではあるので、即答できないが委員会等で検討したい。

（意見 26） ゴミ袋の状況はどうなっているか。

経済教育委員長：毎週水曜日にこれまでと同じ量納品しているが、買いだめ等で無くなってしまっている。そのためシールの販売を前倒しするように動いている。

（意見 27） 学童に入れず待機が多い。

経済教育委員長：今年度は増設したり、保育所の空きスペースを活用したりしている。